

**問合わせ・見学 大歓迎！！**  
 <<利用状況 案内板 (☆募集中★満員)>>  
 ☆ナイス・ケア  
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)  

日	月	火	水	木	金	土
4	5	5	5	5	5	6

 ☆ナイス・ホーム (定員 21名、現在登録者 17名)  
 ☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 11名)  
 ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)  
 ☆ナイス・キッズ (学童保育・託児)

**<<4月行事予定>>**  
 10日 外食デイ  
 20日 避難訓練  
 29日 誕生日会  
 下旬ごろ 桜見物  
  
**<<不定期行事>>**  
 天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

**<<教室案内>>**  
 ・和太鼓 月曜日(年間 35回)  
 場所：愛西市川瀬コミュニティ  
 ・コーラス 水曜日(月 2回)  
 場所：喫茶てのひら  
 ※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。  
 各教室月謝制で、定員あり。  
 詳細はお問い合わせ下さい。

**たかがひとこと、されどひとこと／愛宕の家**  
 愛宕の家の入居者さんのご家族に送る“ひとことメモ”というものがあります。月に一度請求書を送る際、その月の様子をひとこと書いて一緒に添えるという物ですが、“ひとこと”の名の通り、本当に“ひとこと”程度なので、2～3行といったところ。愛宕の生活でのちょっとした1コマを切り取っています。例えば、『ある方の言った言葉がとってもおかしくて皆で大笑いした』だとか、『ある方の突拍子もない行動にビックリしている』などの出来事を“ひとこと”にまとめていきます。しかし、この“ひとこと”が難しい。日常生活の中の1コマなので、穏やか～に日々を過ごしている方はどうしても同じような内容になってしまうのは否めない。しかしそんな穏やかな毎日でも変化はあるもの。それは体調だったり、言葉だったり、表情だったりします。  
 そんな“ひとこと”でも、読んでくださっているご家族がいらっしゃるの嬉しいもので、「もっとたくさん書いてよ」とか「ここ(愛宕の家)ではそんな事をしているんですね」と驚かれることもあります。  
 毎日一緒に過ごしているからこそ、ちょっとした変化、何気ないひと言、ふとした表情を見逃さず、一ヶ月に一回、ご家族へお伝えできる“ひとこと”なんです。(K・T)

**情報共有の大切さ／ナイス・ケア**

訪問介護は利用者さんのお宅にヘルパーが訪問し、ケアマネジャーの立てた計画に基づいてサービスを行います。サービス内容は利用者さん毎で異なり、買い物、調理や掃除、排泄、食事、入浴の介助等、また、利用者さんと一緒に行なわなければいけないという条件も含め、要介護状態によって様々です。毎回サービスを終了する前には、サービス内容を報告書に記入します。訪問中はご家族がおられる事もありますが、大半は利用者さんとヘルパーの一対一での関わりです。

そこで、記録されたサービス内容は同じでも、ヘルパーにより、挨拶の仕方から話題まで十人十色。文字では表せない情報も多く、その情報が担当するヘルパー同士の中で、共有出来ない事もある。利用者さんに不快な思いをさせた事がありました。その経験で、些細な事、話題にしにくいこともきちんとヘルパー間で話し合い、ヘルパー同士が同じ認識を持つことが出来ていたら、不快な思いをさせずにすんだのかもしれない。訪問介護の現場は一対一の関わりですが、ヘルパー同士のチームワークが土台にある事を再認識しました。利用者さんの想いを理解した上で、報告書に何を記録しなければならないか、カンファレンスで何を何処まで話し合うべきかをより深く考え、サービスや、関係のあり方を改善させていきたいです。(K・N)

**意味を見出す／ナイス・デイ**

デイサービスを担当する日、私はいつも頭を悩ませます。利用者さんそれぞれに目標がありますが、その目標へ、いかに楽しみながら目標に近づくか…。そんな私を見て、「そんなに考えなくてもいいよ。私たちとおしゃべりしてくれるだけでいいんだよ。」利用者さんの言葉…。いえいえ、デイサービスを利用して頂いている以上、目標達成の為の関わりは必要。しかし、みなで一緒に何かをやると思うとなかなかレクリエーションが進まず、全員の利用者さんに満足してもらうことが難しいと感じる日々。

一対一で会話をしていると、その先には、『〇〇さんはこんな事がしたいんだ』『こんな事を望んでいるんだ』ということが見えてきます。会話の中から利用者さんの気持ちに気づき、そして引き出して、いかに一人一人の目標に沿ったレクリエーションができるか、その中に機能訓練の意味をもった内容を盛り込む事が出来るのか。何気ない日常生活の動作も機能訓練の意識付けを自覚することで、効果のある行動に変えていけるはず。

例えば、夏みかんの皮むき。指先の運動に加え、時々口に運んで、季節感を味わい、自分達で剥いたみかんの手作りマーマレードを食べる楽しみも加わります。デイサービス利用の目的は利用者さんそれぞれです。『デイサービスを利用する＝外出』という意味を成す方もみえます。『認知症のため、刺激を受けて進行を予防する事を期待』と言う方も。高齢だから、病気だからと消極的になってしまうのは、どんどん『老化』が進んでしまいます。脳の活性化、コミュニケーションの促進の意味も含め、積極的に利用者さんに関わる事で、効果のあるレクリエーション、機能訓練が出来るよう努めていきます。(T・M)



桜花

鯉のぼり

ポカポカ陽気は外で体操

野菜の整理

利用者さんとの手作り飾り

外食デイ

キッズのお手伝い



**介護プロフェッショナルキャリア段位制度進行状況**  
 <<段位取得者>>  
 1～5期生 (12名)  
 <<技術評価中>>  
 6期生 (4名)

**<<編集後記>>**  
 この春、スタッフの子どもたちが小学、中学、高校、大学の入学式を迎えました。私が入社したころはまだ小学校の低学年でかわいかったのに…。写真を見たらもう大人…。あたしも歳とるはずだ。その分成長もしてるはずだといいいけど(汗) (Y・O)

**状態に合わせた制度の選択／ナイス・ホーム**  
 去年の7月末から関わりがスタートしたHさん。入院前は自分で車を運転し、家の中の細々したことをこなして、大家族の中で役割をもって生活してみえたと言っています。そんな中、病気になり、急に『介護が必要な状態です』と言われ、ご本人もご家族も、何がどんな風に必要なのか想像もつかず、不安と戸惑いで一杯になってしまわれたようです。ずっと一緒にいてあげたいと思われても、ご家族もお仕事があつて無理…。そんな時、家族の仕事や用事に合わせて、通いの利用時間に融通が利く事や、もしも、自宅で何かあった場合、緊急の訪問対応の調整がしやすい点などから、小規模多機能の制度を病院の相談員さんが紹介してくれたからと見学にみえました。実際に利用が始まり、通いの基本時間の利用がほとんどでしたが、“もしもの時は何とか対応してもらえる”という、安心感は抱いてくださっていたようです。  
 初回登録から約8ヶ月。ご本人の状態は安定、通いに出かける事にも慣れてみえました。今まで、同居ご家族の協力があり、緊急の対応や、基本の通い時間以外の利用はなかった事などから、先日、単体のデイサービスの利用を提案させて頂きました。環境が変わることで不安もありだっただと思いますが、その時、その状態に合わせた制度を提案する事も小規模の役目だと思っています。ご本人、ご家族へ説明させていただき、居宅のケアマネさんへ引継ぎました。  
 4月から新しいデイサービスに行かれるHさん。今のHさんの状態に適している制度を利用する事で、より元気(自立)になって頂けるのではないかと考えています。(Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。  
**4月の発送部数 108部**